

第1回講座【公開講座】

■日時：平成26年7月14日（月）13：30～16：30

■場所：群馬会館 ホール

■内容

◆基調講演

演題：「農業を取り巻く情勢～これからの日本農業～」

講師：塾長（NHK解説委員） 合瀬 宏毅 氏

【概要】

「TPP交渉」、「日本農業の状況」、「農業の担い手（企業参入）」、「農協改革」、「国の農業政策」、「全国で活躍する農家」という視点で講演をされた。

農業は変革期であることから、ダーウインの言葉を引用し、「強いものが生き残るのではない。環境の変化に対応できるものだけが生き残る。」と激励された。



（講師の合瀬塾長）

◆講義

演題：「売上げを伸ばすということ～基本と改革～」

講師：相模屋食料（株） 代表取締役社長 鳥越 淳司 氏

【概要】

「ザクとうふ」をはじめとするガンダムシリーズの成功の秘訣（社長の趣味・こだわりを追求、おとうふ×ザクというまさかの衝撃など）を説明された。

これは、豆腐市場で初めて、ターゲットを絞った商品開発という点で意味があった。また、鳥越社長の取組方針についても説明された。



（鳥越社長講義の様子）



（質疑応答の様子）

第2回講座

■日時：平成26年7月28日（月）13：00～29日（火）12：00

■場所：伊香保温泉 森秋旅館

■内容

◆講義・演習

演題：「経営と指導者の条件を考える」

講師：（公財）松下政経塾 塾頭

TA：（一社）アグリフューチャージャパン

古山 和宏 氏

岡部 由美子 氏

竹村 淳 氏

石橋 敬介 氏

（公財）流通経済研究所

【概要】

1 講義

松下幸之助氏の考え方を基に、「経営とは何か」、「指導者（経営者・リーダー）の条件」、「事業趣意書（経営理念）」という3点から講義をされた。

2 演習

問題意識、最終的に実現したいこと、実現のために必要なことを考え、「私の志」、「事業趣意書」を作成し、グループ内での発表・意見交換を行った。



（講師の古山塾頭）



（講義の様子）

◆塾OB等との意見交換会

参加者：塾長（NHK解説委員）
（公財）松下政経塾 塾頭
（一社）アグリフューチャージャパン

（公財）流通経済研究所

合瀬 宏毅 氏
古山 和宏 氏
岡部 由美子 氏
竹村 淳 氏
石橋 敬介 氏

【概要】

塾生同士の横のつながりを図ることと、塾OBとの縦のつながりを図ることを目的に開催。

塾OBから、自己紹介、塾で学んだことなどを発表していただき、その後は、個別に自由な意見交換を行った。

塾長、講師、塾OB、塾生、県職員との意見交換を通して、「つながり」へのきっかけ作りを行った。

◆グループワーク

テーマ：「ケーススタディ」
講師：（一社）アグリフューチャージャパン

（公財）流通経済研究所

岡部 由美子 氏
竹村 淳 氏
石橋 敬介 氏

【概要】

販売戦略・マーケティング戦略について、各班ごとに検討し、発表資料を作成し、発表を行った。



（グループワークの様子）



（発表の様子）

第3回講座

①担い手育成コース

■日時：平成26年9月2日（火）10：00～15：00

■場所：群馬県庁 295会議室

■内容

◆講義・演習

演題：「現状の経営の振り返りと経営計画作成方法」

講師：（一社）アグリフューチャージャパン 竹村 淳 氏
（公財）流通経済研究所 石橋 敬介 氏

【概要】

○経営計画作成手順

自分が実現したいことを策定 → 外部環境分析 → 内部環境分析 → SWOT分析
→ 戦略策定と目標設定 → 品目選定と売上・利益・原価計算

○外部環境分析（国内の動き、農業界の動き）、内部環境分析（自社の強み・弱み）について説明。その後、演習・グループワークを実施。



（講師の竹村氏、石橋氏）



（グループワークの様子）

②6次産業化コース

■日時：平成26年9月5日（金）10：00～15：30

■場所：群馬県庁 昭和庁舎 21会議室

■内容

◆講義・演習

演題：「モノを創り地域を起こすこと。農家によるプロ意識を持った販売とは。」

講師：(有)ベネット 代表取締役 青木 隆夫 氏

T A：(一社)アグリフューチャージャパン 松本 武士 氏

岡部 由美子 氏

【概要】

I 講義：「モノを創り地域を起こすこと。農家によるプロ意識を持った販売とは」
(青木隆夫 氏)

①前半：食を取り巻く現在の環境・現状や直売所の歴史を解説

②後半：スライドを用いて、農産加工品の成功例等を解説

II 演習：グループワーク&セルフワーク
(岡部由美子 氏)

※ファーマーズ&キッズフェスタ（11/8～9 日比谷公園）への出展に向けたブース設計企画作成等の実践演習



(青木氏による講義)



(フェスタ参加に向けた企画設計)

第4回講座

①担い手育成コース

■日時：平成26年10月1日（水）

■内容

◆先進事例調査

視察先：(株)TKF（茨城県つくば市）

講師：(株)TKF 代表取締役社長

TA：(一社)アグリフューチャージャパン

(公財)流通経済研究所

木村 誠 氏

竹村 淳 氏

石橋 敬介 氏

【概要】

木村社長に案内をいただき、その都度、質疑応答をするという方法で視察を実施。

- ・(株)TKFは、販売先の需要に応じて生産をするというスタンスで、そのために、規模拡大・雇用を行い、他地域との生産連携を行うなど需要に合わせた成長をしてきた。

〈視察場所〉

①パッキングセンター

②堆肥センター

③ほ場



(パッキングセンターで説明をされる木村社長)



(質疑応答の様子)

②6次産業化コース

■日時：平成26年10月20日（月）

■内容

◆視察

視察先：（農事）国府野菜本舗（高崎市）

講師：（農事）国府野菜本舗 代表理事 真塩 光枝 氏

【概要】

①視察：（農事）国府野菜本舗が運営する加工所・店舗を真塩代表に案内され視察、その後、会議室にて、同法人の立ち上げの経緯や法人運営で苦労した点などを女性農業者視点で講演を頂いた。

②会議室での講演後は同法人が運営する農家レストランを視察し、実際に昼食を取り視察終了。

◆講義

演題：「食品加工関連法規」

講師：群馬県健康福祉部食品安全局衛生食品課担当職員

会場：群馬県庁 昭和庁舎35会議室

【概要】

県衛生食品課担当職員により、食品表示制度をメインとした解説
・食品衛生法、JAS法で規定された表示方法について、具体例をあげながら注意すべき点や問題が起きそうな事例を紹介。

◆演習

テーマ：販売計画

講師：（一社）アグリフューチャー・ジャパン 岡部 由美子 氏

会場：群馬県庁 昭和庁舎35会議室

【概要】

ファーマーズ&キッズフェスタ（11/8～9 東京都・日比谷公園）への出展に向けた話し合い等実践演習



（店舗外観）



（店舗内視察）



（会議室での講演）

第5回講座

①担い手育成コース

■日時：平成26年11月6日（木）10：00～16：00

■場所：群馬県庁 セミナールーム

■内容

◆講義

演 題：「消費者・流通関係者の視点」

講 師：(株)農経新聞社 代表取締役社長

T A：(一社)アグリフューチャージャパン

(公財)流通経済研究所

宮澤 信一 氏

竹村 淳 氏

石橋 敬介 氏

【概要】

「卸売市場流通」、「わが国の野菜・果実の生産状況」、「食料自給率」、「消費税率アップによる食料支出への影響」などについて、事例を交えて説明をされた。



(講師の宮澤社長)



(講義の様子)

◆演習・グループワーク

テーマ：「SWOT分析による経営戦略の策定」

講 師：(一社)アグリフューチャージャパン

(公財)流通経済研究所

竹村 淳 氏

石橋 敬介 氏

【概要】

SWOT分析を個人で作成した。そして、グループ内で発表し、グループ内でもらった意見を基に修正し、グループ代表者1名が自身のSWOT分析について、全体に発表した。



(演習・グループワークの様子)

②6次産業化コース

■日時：平成26年11月8日（土）・9日（日）

■内容

◆販売演習

第5回「ファーマーズ&キッズフェスタ」への出展

会 場 東京都・日比谷公園

【概要】

第5回「ファーマーズ&キッズフェスタ」へ、販売演習として各自、加工品や農産物を持ち寄り参加。



（オープニング前の全体写真）



（ちびっ子・女性に大好評のぐんまちゃん）

第6回講座

①担い手育成コース

■日時：平成26年12月9日（火）10：00～16：00

■場所：群馬県庁 292会議室

■内容

◆講義

演 題：「農業経営者に求められる資質について」

講 師：(株)野菜くらぶ、グリーンリーフ(株) 代表取締役 澤 浦 彰 治 氏

T A：(公財)流通経済研究所 折 笠 俊 輔 氏

石 橋 敬 介 氏

【概要】

「経営理念（感動農業、人づくり、土づくり）」、「これまでの沿革」について、弱
みが強みになったという視点を中心に説明をされた。



(講師の澤浦社長)



(講義の様子)

◆演習・グループワーク

演 題：「目標の設定と経営計画発表に向けた準備」

講 師：(公財)流通経済研究所 折 笠 俊 輔 氏

石 橋 敬 介 氏

【概要】

○経営計画の作成についての確認

- ・ 経営理念→経営戦略→事業計画の流れで経営計画を考え、内容の一貫性があることを心がける。
- ・ 前回のSWOT分析で苦戦をしていた人がいて、「強みがない、見つからない」という意見があった。経営理念を達成するための強みがないと計画作成が難しいことから、強みづくりについて説明があった。(将来、弱みを強みに変える等)
- ・ 事業計画(目標)の設定について説明。

○演習

- ・ SWOT分析の強みを再検討し、グループ内での発表、討議。
- ・ 目標設定を行い、グループ内での発表・討議。



(グループワーク・演習の様子)

②6次産業化コース

■日時：平成26年12月4日（木）10：00～16：45

■場所：群馬県庁 281-A会議室

■内容

◆講義

演題：「農家の感性と経験を活かした6次化について考える」

講師：丹羽農園、ローフードマイスター 丹羽なほ子氏

TA：（一社）アグリフューチャージャパン 岡部由美子氏

【概要】

- ・モデル活動やトライアスロン選手として活躍する一方、活動拠点を両親が暮らす岐阜県に移し、両親と一緒に農業・農産加工を行っている様子をスライドを交えて紹介。
- ・女性の塾生からは、同氏が副理事長を務める「田舎のヒロインズ」等に質問が集中し、高い関心が寄せられた。

◆演習

テーマ：商品企画書づくり

講師：（一社）アグリフューチャージャパン 岡部由美子氏

【概要】

- ・商品企画書記入の説明・セルフワーク（企画書記入）
第7回講座「商品企画発表会」に向けての説明と、その際に利用する商品企画書の作成方法等のレクチャーと作成演習を実施。

◆演習

テーマ：原価計算

講師：群馬県農政部技術支援課担当職員

【概要】

原価の考え方と、県技術支援課担当職員が作成した原価計算シートを用いた原価算出方法を解説



（講義全体）



（丹羽なほ子氏）



（岡部由美子氏）

第7回講座

①担い手育成コース

■日時：平成27年2月4日（水）10：00～15：40

■場所：群馬県庁舎 292会議室

■内容

◆経営計画発表会

講評：塾長 合瀬宏毅氏（NHK解説委員）

（一社）アグリフューチャージャパン 常務理事兼事務局長

（有）あずま産直ねっと 代表取締役社長

日本政策金融公庫前橋支店農林水産事業農業食品課長

（一社）アグリフューチャージャパン

（公社）流通経済研究所 研究員

戸山章弘氏

松村久子氏

海老沼茂氏

竹村淳氏

石橋敬介氏

【概要】

塾生21名が経営計画の発表を行った。

〈発表〉→〈質疑応答〉→〈講評〉という流れで実施。

今回の発表会に向けて、各班で自主的な取り組みとして中間ミーティングを実施してきた成果が見られた。

経営計画の発表は、今後、どのように農業経営に取り組んでいくかという宣言でもあり、講評者からエールが送られた。



（経営計画発表の様子）



（講評及び会場の様子）

②6次産業化コース

■日時：平成27年1月20日（火）13:00～17:00

■場所：群馬県議会庁舎 203会議室

■内容

◆商品企画発表会

講評：塾長（NHK解説委員）

（一社）アグリフューチャージャパン常務理事兼事務局長

ファシリテーター：（一社）アグリフューチャージャパン

助言者：コーネル大学RMPジャパン事務局

農林中金前橋支店次長

日本政策金融公庫前橋支店 支店長

群馬県商工会連合会

合 戸 瀬 宏 毅 氏
山 部 章 弘 氏
岡 塚 由 美 子 氏
大 塚 明 氏
笠 原 康 宏 氏
武 原 雄 二 氏
関 係 者

【概要】

塾生による商品企画発表会 19課題（5分間発表・質疑応答4分間/1人）

本塾の集大成ともいえる商品企画の発表を19人（19課題）行った。バイヤーに対する商品プレゼンテーションを模した実践形式の発表会とし、助言者には、実務の現場で活躍している方に参加を願った。

発表者は、それぞれの商品の個性や特徴を解説したり、また商品に対する熱い思いを訴えるなど白熱した発表会となった。



（発表前の全体写真）



（発表の様子）



（発表の様子）



（講評を行う合瀬塾長）